

(様式案)

※施策の柱ごとに本紙を作成します。

※令和3年度実績に関する記載は仮の内容です。

滋賀県文化振興基本方針(第3次)の進捗状況について(令和3年度)

施策の柱1 場をつくる

県民誰もが文化芸術に親しみ、多様な主体や世代等がつながる場をつくる

- 1 施策の実施状況
- 2 評価指標の状況
- 3 関連する情報
- 4 評価と課題

<進行管理の流れ>

- ① 前年度実績のとりまとめ、自己評価(4月～6月)
- ② 文化審議会での検証(7～8月)
- ③ 県民への結果の公表等(9月～)
- ④ 文化審議会での報告(翌年2～3月)

1 施策の実施状況（詳細は、「令和3年度関連事業一覧」を参照。）

※各重点施策に掲げる「主な取組」を中心に、当該年度の施策の実施状況を記載。

重点施策1 誰もが文化芸術に親しめる場の提供

- コロナ禍により令和2年度は中止・縮小開催を余儀なくされた「ホールの子」事業や学校等へのアウトリーチ事業（文化芸術連携授業、学校巡回公演等）を再開。文化芸術連携授業ではオンラインを活用するなどし、子ども・若者が文化芸術に触れられる機会を充実。

●

●

重点施策2 多様な主体がつながる文化芸術活動の促進

- 障害者等の多様な人が集える場づくりに向けて、今年度から「障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業」を開始。県内3地域（長浜市・守山市・高島市）での場づくりの取組や関係者のネットワークづくりに向けたオンラインイベント等を実施。

●

●

2 評価指標の状況

評価指標 (把握方法／把握予定時期)	策定時 (R1)	実績値						目標 (R7)
		R2(参考)	R3	R4	R5	R6	R7	
① 1年間に文化芸術を鑑賞したことの ある県民の割合 (県政モニター調査／9月)	73.7※	62.9※	84.4					85.0%
②文化芸術活動に取り組むことができ る環境が整っているとする県民の割 合 (県政世論調査／11月)	38.4	39.4	41.1					50.0%
③学校と連携した文化芸術プログラ ムの参加児童数 (県事業の実績から算出／翌年5月)	22,699	9,707						26,000人
④民間団体や市町等と連携した文化芸 術事業実施数 (県事業の実績から算出／翌年5月)	369	256						420件

※直接鑑賞のみの割合

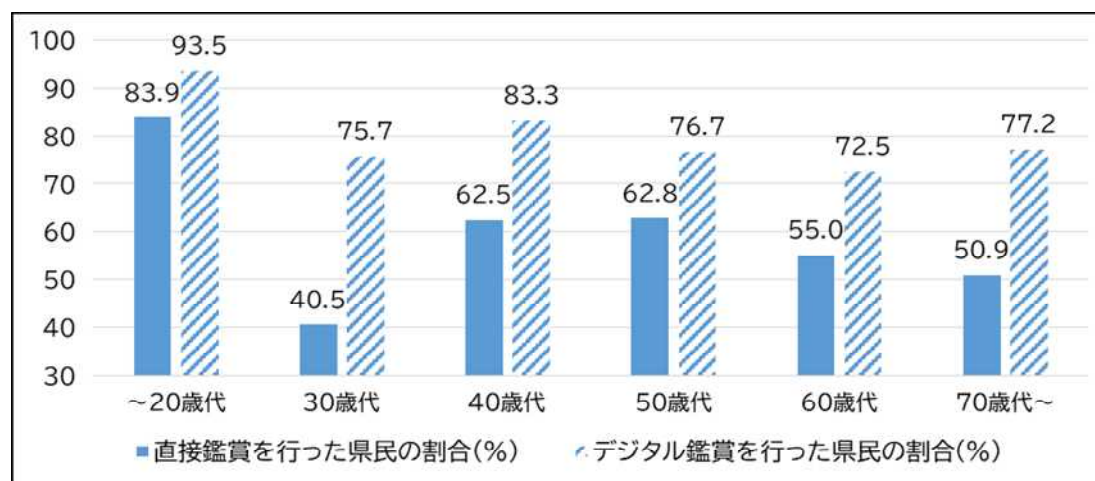
3 関連する情報

※文化審議会での意見等を踏まえ、施策の実施状況や評価指標に関連する定量・定性的な情報を記載。
 ※情報量が多い場合は資料を別添。

(例)

「①1年間に文化芸術を鑑賞したことがある県民の割合」の年代別・鑑賞方法別の割合(令和3年度)

	～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～
直接鑑賞を行った県民の割合(%)	83.9	40.5	62.5	62.8	55.0	50.9
デジタル鑑賞を行った県民の割合(%)	93.5	75.7	83.3	76.7	72.5	77.2



「③学校と連携した文化芸術プログラムの参加児童数」の地域別の割合(小学生)(令和3年度)

	大津	南部	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西
参加児童数(人)							
学生数に対する割合(%)							

4 評価と課題

※施策の柱ごとの進捗や課題、今後の取組の方向性を記載。

※施策の実施状況や評価指標の状況、関連する情報等を踏まえて総合的に評価。また、施策展開の視点「つながる」（人、地域、世代等のつながり）にも留意して記載。

- 令和3年度は、オンラインの活用などコロナ禍に対応しながら事業を展開し、前年度に比べ多くの創作、鑑賞の機会を県民に提供することができた。評価指標①・②ともに前年度より向上しており、県民が文化芸術に親しめる環境づくりを推進することができた。

●

●